熱海健康福祉センターだより

創刊号 2004.4.1

冬のウイルス性下痢症シンポジウム開催

ノロウイルスって知っていますか？

冬になると生カキを食べて胃腸炎になったり、子供がカゼをひいたと思ったら、咳だけでなくて、急性の胃腸炎で嘔吐や下痢を起したりする経験をした方が大勢いると思います。実は、この原因として、ノロウイルスが関係していることがわかってきました。

熱海保健所では、平成15年度地域保健総合推進事業として「熱海地区におけるノロウイルスの調査」を行いました。その結果を平成16年2月26日にシンポジウムで公開しました。

ノロウイルスは食中毒と冬の小児の急性胃腸炎等の感染症の原因です

ノロウイルスに感染しないために

- 生カキはウイルス汚染の可能性があるので十分加熱（85℃、1分） する
- 生カキ等の調理に使ったまな板、包丁、布巾なども消毒する。
- トイレの後、調理の前、食事の前には石鹸で10秒以上手を洗十分な流水ですすぐこと。
- 症状のある時に便にはウイルスが含まれているので、オムツなどは手を汚染しないようにビニール手袋などをして完全に片付ける。
- 症状のある時の嘔吐にもウイルスが含まれているので同様に片付ける。
- 吐物などの付着した床、流し、バケツ、雑巾などは次亜塩素酸ナトリウムの入っている消毒薬を希釈して消毒する。
- 体調に下痢、嘔吐などの異常があるときは調理をしない。

商店街から
健康づくり

熱海健康福祉センターでは、平成16年3月13日、熱海銀座商店街の「ヘルシー商店街フェスティバル」の中で、熱海市とともに健康コーナーを開催しました。このフェスティバルは、圏域健康づくり計画「アイアイ健康21」の中の、官民協働推進事業の一環として行なわれたものです。日常に身近な商店街と連携・協働してイベントを行なうことにより、地域の方に楽しみながら健康づくりについて考えていただくことができました。

ヘルシー商店街チラシ→

ヘルシー商店街で健康づくり!!

熱海健康福祉センターと熱海市では、市民の皆様の身近な生活の場で健康づくりの情報提供を目的として、ヘルシー商店街推進事業を展開していますが、その一環で熱海銀座ヘルシー商店街フェスティバル会場において下記のとおり健康体験コーナーを開催しますので、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

記

日　時：平成16年3月13日（土）午後1時から5時まで

場　所：熱海銀座商店街（熱海市銀座町）

内　容：知って健康・調べて健康・栄養で健康・休養で健康・運動で健康

問合せ先　熱海健康福祉センター健康増進課　0557-82-9125

主催：熱海健康福祉センター・熱海市・熱海銀座商店街振興組合　協力：東海医療学園専門学校・熱海県行政センター

←熱海銀座商店街を歩行者天国にして行ったヘルシー商店街フェスティバル。天候にも恵まれ、延べ2,000人の方が参加してくださいました。健康福祉センター管内の健康状態を紹介する『知って健康』健康づくり計画のパネル展の様子です。「熱海市は、生活習慣病で亡くなる人の割合が多かったの？」と疑問の声もありました。

→『調べて健康』健康チェックコーナーでは、140人の方が、血圧測定や、骨密度測定を受け、大変好評を得ました。熱海市内の方はもちろん、観光客も参加していただき「思いがけず測定ができてよかった。」との感想が聞かれました。体格指数（BMI）計算尺も配布し、自分の肥満度を知り「やっぱりね」など、自分の体型について考える機会にもなりました。

←『運動で健康』簡易体力測定では、125 人が参加しました。親子や、ご夫婦で結果を競う様子もみられ、遊び感覚でご自身の体の調子を知ってもらう事ができました。足のツボを刺激する健康歩道では、「気持ちいぃ～」「痛くて歩けない!!」などの声もありました。子どもから高齢の方まで楽しんでもらう事ができました。

→『栄養で健康』では、アルコールやお菓子、おやつ、などのカロリーをフードモデルと一緒に展示しました。「このお菓子は、こんなにエネルギーがあったの！」「私の１回にお酒を飲む量は適量だったのね。」「おつまみのカロリーにも気をつけないとね。」などの感想が聞かれました。

←『休養で健康』マッサージ無料体験では、東海医療学園専門学校の皆様に協力をお願いしました。希望者が多く、一次は 1 時間待ちとなるほどでした。意外な場所での 15 分間のマッサージ体験に満足していただく事ができました。

ひとくちメモ

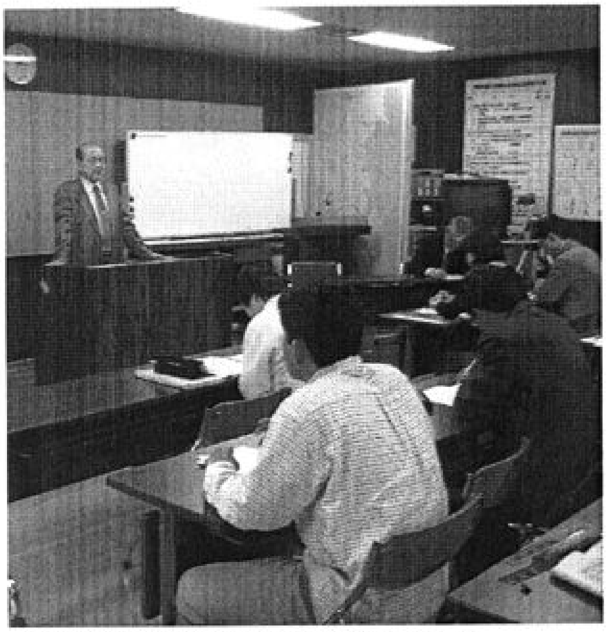
※高病原性鳥インフルエンザについて

高病原性鳥インフルエンザは、ヒトへの感染はごく稀であると言われています。現在のところ感染の心配はほとんどないと考えられていますので、通常の生活で特別な予防を行なう必要はありません。

なお、外出から帰った場合や食事前に、手洗い・うがいなどを行なうことは、インフルエンザだけでなく、多くの感染症に共通する予防策です。手洗い・うがいを徹底しましょう。

気になる症状などある場合は、お早目に保健所へご相談下さい。

熱海・伊東障害者保健福祉圏域連絡協議会の開催



3月9日（火）静岡県熱海総合庁舎会議室にて

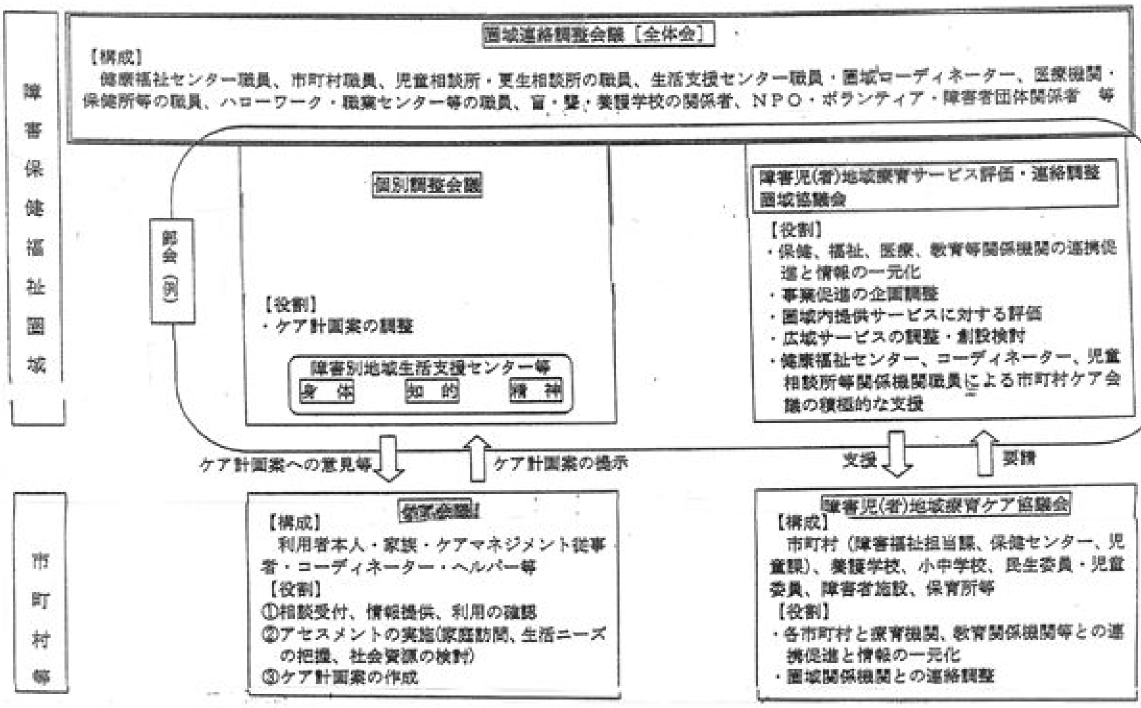
この協議会２回目の全体会となる今回（平成16年３月９日開催）は、地域生活支援センター「なかいず」（身体）、地域療育センター「いぶき」（知的）、地域生活支援センター「いとう」（精神）が１年間の活動状況を報告しました。

支援センターの報告の後、県立こども病院名誉院長で伊豆医療福祉センター長の北條博厚先生が「地域療育」についての講演を行いました。

●保健福祉圏域連絡調整会議は

地域の福祉、保健、教育、就労などの関係機関が連携し、障害者の支援、ニーズに合わせた各種サービスを総合的に調整、推進する会議です。熱海・伊東地区は平成15年6月から活動しています。

●障害者地域生活支援の推進体制



〈お問合せ先〉
熱海健康福祉センター　電話 0557-82-9106
〒413-0016 熱海市水口町 13-15 FAX 0557-82-9131